

児童発達支援・放課後等デイサービスにおける 支援プログラム 公表



SPARK

Super Playful Active Responsive Kids

令和7年2月27日 作成
令和8年3月10日 更新

株式会社アオバヤホールディングス
スパークランド名取
スパークランド仙台宮城野
スパークランド郡山
スパークランド仙台泉
スパークランド山形
スパークランド郡山安積
スパークネクスト仙台宮城野
スパークネクスト郡山安積
スパークネクスト仙台泉

理念

遊びを通して、発達に遅れのある子どもたちの脳機能の発達を促します。

スパーク運動療育の3つの効果

1.有酸素運動 - 脳の可塑性を高める



- 血流が増して脳の活動に必要なエネルギーが送られ、脳が目覚める。
- 脳由来の神経栄養因子(BDNF)や神経成長因子(IGF-1)などが生成されて、脳細胞と神経回路が強化される。また、脳細胞の新生を促す。
- セロトニンなどの神経伝達物質が生成されて気分が安定する

2.技能習得型 - 新しい脳神経回路をつくる



- コントロール・バランス・協調運動などを通じて、新しい脳神経回路をつくる。これらの脳神経回路は、学習や記憶などにも使われ脳機能が高まる。

3.感覚を刺激 - 脳を最も広範囲に使う



- 脳は常に内外からの感覚情報を処理し、運動命令を出している。環境からの刺激(特殊感覚)を受けながら、体内の筋肉を使って動く(体性感覚)ことによって、脳は広範囲に使われ活性化される。

提供方針（スパークランド）

1. 屋内療育

一人ひとりの発達段階に合わせて粗大運動、微細運動、学習、SSTなどを組み合わせた支援を行います。

（個別・小集団）

2. 屋外療育

自然の中で身体を動かしながら、五感を刺激し、運動遊びを行います。月に2～3回程度実施しています。※フィールドスパーク

（個別・小集団）

3. イベント

季節や地域に合わせて、様々なイベントを行います。
※公園スパーク、ハロウィン、クリスマス、バレンタインなど

（個別・小集団）

提供方針（スパークネクスト）

1. 屋内療育

一人ひとりの発達段階に合わせて粗大運動、微細運動、SSTなどを組み合わせた支援を行います。

（個別・小集団）

2. 屋外療育

自然の中で身体を動かしながら、五感を刺激し、運動遊びを行います。月に2～3回程度実施しています。※フィールドスパーク

（個別・小集団）

3. イベント

季節や地域に合わせて、様々なイベントを行います。
※公園スパーク、ハロウィン、クリスマス、バレンタインなど

（個別・小集団）

支援プロセス（スパークランド）

初回

アセスメント

保護者さまからお子さまの生活情報を収集したり子どもの課題を領域ごとに分析、現状の把握をします。
アセスメントは誰が用いても同じような結果が得られることが重要です。そのため、スパーク独自の進化レベルを使用しています。

STEP
1

個別支援計画の作成

お子さまの発達段階と環境を考慮し、サービス提供の目標と計画を立てます。
進化レベルから領域ごとに課題を分析し、個々の計画を立てます。ポジティブストレスをかけてクリアできそうな水準を見定めることがポイントです。

STEP
2

発達支援療育の提供

個別支援計画に基づき、スパーク運動療育士はお子さまが楽しみながら運動遊びに取り組める環境を作ります。
スパークランドでは、お子さま1人に療育士が1人以上つく個別または小集団の療育を実施しており、手厚い支援を実現しています。

STEP
3

モニタリング

スタッフ間で発達段階の進捗を確認し、常にお子さまの発達を把握します。
進化レベルを基準保護者さまと面談を行い、達成、継続、終了を判断します。運動機能面だけでなく、社会性の成長を同時に分析するのも重要な視点です。

STEP
4

個別支援計画の見直し

モニタリングをもとにサービス提供の目標と計画を見直します。
スパークでは、領域に沿った豊富な運動遊びを提供します。お子さまが飽きずに、通所し続ける工夫をし、ひとつでも多くの「できた!」を増やすことが重要です。

支援プロセス（スパークネクスト）

初回

アセスメント

保護者さまからお子さまの生活情報を収集したり子どもの課題を領域ごとに分析、現状の把握をします。
アセスメントは誰が用いても同じような結果が得られることが重要です。そのため、スパーク独自の進化レベルを使用しています。

STEP
1

個別支援計画の作成

お子さまの発達段階と環境を考慮し、サービス提供の目標と計画を立てます。
進化レベルから領域ごとに課題を分析し、個々の計画を立てます。ポジティブストレスをかけてクリアできそうな水準を見定めることがポイントです。

STEP
2

発達支援療育の提供

個別支援計画に基づき、スパーク運動療育士はお子さまが楽しみながら運動遊びに取り組める環境を作ります。
スパークネクストでは、運動遊び、心遊び、学習など集団療育を通して、社会性の向上を目指しており、手厚い支援を実現しています。

STEP
3

モニタリング

スタッフ間で発達段階の進捗を確認し、常にお子さまの発達を把握します。
進化レベルを基準保護者さまと面談を行い、達成、継続、終了を判断します。運動機能面だけでなく、社会性の成長を同時に分析するのも重要な視点です。

STEP
4

個別支援計画の見直し

モニタリングをもとにサービス提供の目標と計画を見直します。
スパークでは、領域に沿った豊富な運動遊びを提供します。お子さまが飽きずに、通所し続ける工夫をし、ひとつでも多くの「できた！」を増やすことが重要です。

事業所情報



提供地域	事業所名	住所
宮城県名取市	スパークランド名取	宮城県名取市増田字柳田85-5
宮城県仙台市	スパークランド仙台宮城野	宮城県仙台市宮城野区萩野町3-14-1 1F
福島県郡山市	スパークランド郡山	福島県郡山市小原田2-23-8
宮城県仙台市	スパークランド仙台泉	宮城県仙台市泉区長命ヶ丘5-1-10 1F
山形県山形市	スパークランド山形	山形県山形市花楸1-21-15
福島県郡山市	スパークランド郡山安積	福島県郡山市安積町荒井大久保26-1 1F
宮城県仙台市	スパークネクスト仙台宮城野	宮城県仙台市宮城野区萩野町3-14-1 2F
福島県郡山市	スパークネクスト郡山安積	福島県郡山市安積町荒井大久保26-1 2F
宮城県仙台市	スパークネクスト仙台泉	宮城県仙台市泉区長命ヶ丘5-12-9

※窓口（コールセンター）：0120-342-557

スパークランド

スパークネクスト

営業日

月・火・木・金・土・日（祝日含む）

月・火・水・木・金（祝日含む）

休業日

お盆、年末年始

年末年始

営業時間

9:00~18:00

9:00~18:00

送迎

なし

あり

支援内容（スパークランド）

	5領域	支援内容
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・有酸素運動で脳を活性化し、緊張や不安を緩和して気持ちの安定を図りながら健康を維持する。 ・体をたくさん動かして生活リズムを整える。（水分補給、手洗いうがい、トイレ等） ・楽しく運動しながら体力の向上を目指す。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある遊びの中に体幹を鍛える動きを導入し、身体機能の向上を目指す。 ・興味のある遊びを協調運動に発展させ、体のコントロールを上達させる。 ・視覚、聴覚、触覚などの様々な感覚を処理し、環境に適応する力を養う。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な作業に集中して取り組む力や必要なところに注意を向ける力を伸ばす。 ・ごっこ遊びを通して、必要な情報を保持する力を伸ばす。 ・遊びの中で自分の感情をコントロールしながら折り合いをつけて遊ぶ練習や切替ができるようになる。 ・遊びの中で状況を把握し、話し合いながら解決策を見つけ出す力を養う。
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びたいことや遊びのルールを確認する機会を作り、言葉で伝える力を伸ばす。 ・遊びの中に指示を聞いて遊ぶ要素や言葉遊びの要素を導入し、聞く力を伸ばす。 ・他者とコミュニケーションを図る機会を提供し、言語と非言語でのやりとりができるようになる。 ・表情、身振り、アイコンタクトなど言語以外のコミュニケーション能力を高める。
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊ぶ他児と遊びを共有することで、お友だちと遊ぶ楽しさを知る。 ・一緒に遊ぶ他児や療育士と協力して課題に取り組む機会を作り、協調性や社会性を身に付ける。 ・運動を通して成功体験を積み重ねることで、自信をつけて自己肯定感を高める。

支援内容（スパークランド）

	支援内容
家族支援	①【見立て】児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言等 ②【計画】目標設定に関する意図・相談・助言等 ③【手立て】プログラム内容・意図・成果/相談・助言等 ④【実行】補助・手法に関する相談・助言等 観察の機会提供や①から④などの個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施
	①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家族生活に関する相談・助言等 ④集団生活に関する相談・助言等 ⑤兄弟児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所での対面にて実施
移行支援	インクルージョンに向けたと取組の推進 ①事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように般化を目指した支援を行う (1)練習した場面でないところでも適切な行動ができる (2)練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる (3)強化子がなくても適切な行動をし続けられる ②スパーク運動療育では、インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため地域の公園を活用し集団活動を行う ③保育所や学校等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施

支援内容（スパークネクスト）

	5領域	支援内容
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康を図るため、集団生活で抱えてきたストレスの緩和や自己肯定感の向上を目指す。 ・入室後、手洗い、うがいの徹底をすることで衛生面の意識を高める。 ・清掃を毎日10分行うことで、自発的に清掃活動に励めるようにする。各分野の掃除担当を決め、清掃後の心地よさを感じてもらい整理整頓をする意識を高める。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・スパーク運動療育の動画を使った有酸素運動や体遊びを15分間行い、身体機能の向上を目指す。 ・自由遊びでも、室内で体を使った運動遊びを行い、体力の向上を図る。 ・長期休みの際には、広い公園に行きのびのびと体を動かす自然活動を導入し五感を刺激する。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・動画療育にはダンスやステップ遊びがあり、目や音で得た情報を実際に自分でも同じ動きができるようになる。楽しい雰囲気の中で難しい動きに挑戦する力を養う。 ・送迎の時間を大切にしており、外的な情報が少ない中で事前の約束事やルール確認、1日の流れをインプットすることで行動に移せるようになる。 ・長期休みの際には、買い物学習や工場、科学館などの社会科見学を行い、公共の場でのルールやマナーを意識した行動ができるようになる。 ・宿題の時間を15分間設けることで、遊ぶ時と勉強をする時のメリハリをつけ集中して取り組めるようになる。
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・「心遊び」というディスカッションする時間を設けて、一つのテーマに合わせて自由に意見が飛び交うことで互いの意見を認め共感する力が身につく。 ・自分の考えを他者に話す経験を重ね、語彙力や説明力の向上を図る。
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの学校で流行っている集団遊びをする時間を設けることで、多様性を感じる力が身につく。 ・お出かけの際には、上級生が下級生の手伝いやリードをすることで、異年齢ならではの関わりでお互いを意識し合う関わりができるようになる。

支援内容（スパークネクスト）

	支援内容
家族支援	①【見立て】児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言等 ②【計画】目標設定に関する意図・相談・助言等 ③【手立て】プログラム内容・意図・成果/相談・助言等 ④【実行】補助・手法に関する相談・助言等 観察の機会提供や①から④などの個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施
	①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家族生活に関する相談・助言等 ④集団生活に関する相談・助言等 ⑤兄弟児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所での対面にて実施
移行支援	インクルージョンに向けたと取組の推進 ①事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように般化を目指した支援を行う (1)練習した場面でないところでも適切な行動ができる (2)練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる (3)強化子がなくても適切な行動をし続けられる ②スパーク運動療育では、インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため地域の公園を活用し集団活動を行う ③学校などの関係機関への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施

地域支援・地域連携

地域の関係機関（保育所、幼稚園、小学校、相談支援事業所等）の訪問や見学を定期的を実施

保育士や幼稚園教諭向けの講演会やワークショップなどの研修会、スパーク説明会を開催

毎週金曜日に環境美化活動として、地域のごみ拾いを実施

質の向上に資する取り組み

毎月第3火曜日に勉強会の実施（関連法令、BCP、避難訓練、虐待防止、辞令検討会等）

年2回OJT研修の実施（協会本部より講師派遣）

毎月1回お客さまの声会議の実施（ヒヤリハット再発防止等）

その他外部の研修会に参加

主な行事等

フィールドスパーク（屋外療育）の開催

- ・月に3回程度
- ・近隣の公園などで自然を感じながら五感を刺激するスパーク運動療育の提供

スパークコミュニティの開催

- ・1ヶ月に1回程度
- ・親御さま同士の情報交換会の場